



鬼北町多世代交流施設 チカナガぱらっとホーム



～ さまざまな世代のみなさんが
「ぱらっと」立ち寄れる、そんな施設を目指して～



住 所 〒798-1343 鬼北町大字近永669番地

建設経過 🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲

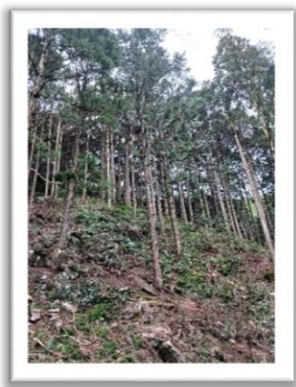
鬼北町では、令和元年度から「近永駅周辺賑わい創出プロジェクト」を立ち上げ、北宇和高校生、地域住民、地元商業者、行政が連携して、近永駅の活用案、近永商店街の活性化、JR予土線の利活用について話を進めてきました。特に、町内唯一の県立高校である北宇和高校と連携し、高校魅力化事業を推進しており、この一環として、生徒の全国募集を手がける「地域みらい留学」にも参画し、馬術部や、農業及び食品製造が学べる生産食品科など、学校の特色を生かしたPR活動を展開しており、令和7年度は、関東圏、関西圏など県内外から12名の寮生が北宇和高校に通学しています。

こうしたことから、高校を核とした地域活性化の拠点として、県外高校生、地域住民、小中学生の交流、レクリエーション活動、イベントなどを通して、幅広い世代が集い、学べる「鬼北町多世代交流施設 チカナガぷらっとホーム」を整備しました。

北宇和高校学校林の利用 🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲

北宇和高校では、昭和20～30年頃に植林された学校林(ヒノキ)を、長年にわたり管理していました。植林・下刈り、枝打ちなど、これまでの管理に携わったのは北宇和高校の生徒たちです。令和4年度の北宇和高校教育寮の建設に当たり、愛媛県教育委員会のご理解とご協力を賜り、県と締結している学校部分林契約(47,801 m²)を解除の上、木材の無償譲渡を受け建築材に利用しました。

今回整備した多世代交流施設の内装材にも、学校林のヒノキを活用し、木の香り漂う温かみのある施設となっております。これまで長年にわたり学校林を守り育てていただいた北宇和高校 OB の皆様に深く感謝を申し上げます。



建設経過 🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲🌲

【設計】 新企画設計株式会社

【施工】 (建築工事) 愛媛・宇都宮特定建設工事共同企業体
(電気設備工事) 桐島電工・兵頭電気特定建設工事共同企業体
(機械設備工事) 中村設備・兵頭電気特定建設工事共同企業体

●主な特徴

北宇和高校教育寮の外壁はヒノキ張りですが、多世代交流施設の外壁はアクセント効果を持たすため、サイディング張りとしています。内装材には学校林のヒノキを使用し、木の温もりを感じられる空間となっているほか、明るく開放感のある間取りとし、利用者が親しみの持てる施設となっています。

施設概要



1 施設概要

◇住 所 愛媛県北宇和郡 鬼北町大字近永 669 番地

◇延べ床面積 978.10 m²
(1 階 431.19 m²、2 階 509.15 m²、その他 37.76 m²)

◇構 造 鉄骨造2階建て
※内装材に学校林(ヒノキ)を使用し、木の温もりを感じることができます。

◇主な部屋 居室(28 室)、事務室、仮眠室、多目的スペース、食堂・ラウンジ
浴室(大浴場、シャワー室、ユニットバス)、洗面洗濯室

2 居室について

居室はすべて2階で全室個室です。(浴室は1 階、トイレは男女それぞれ共用)
※ 2階は男女比に応じてエリア分けができます。

3 施設の管理について

施設の管理人のほか、長期滞在の高校生の生活・学習については、ハウスマスターが保護者の立場となってサポートします。夜間は宿直者が常駐します。

4 セキュリティについて

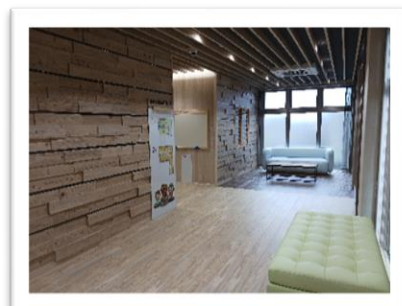
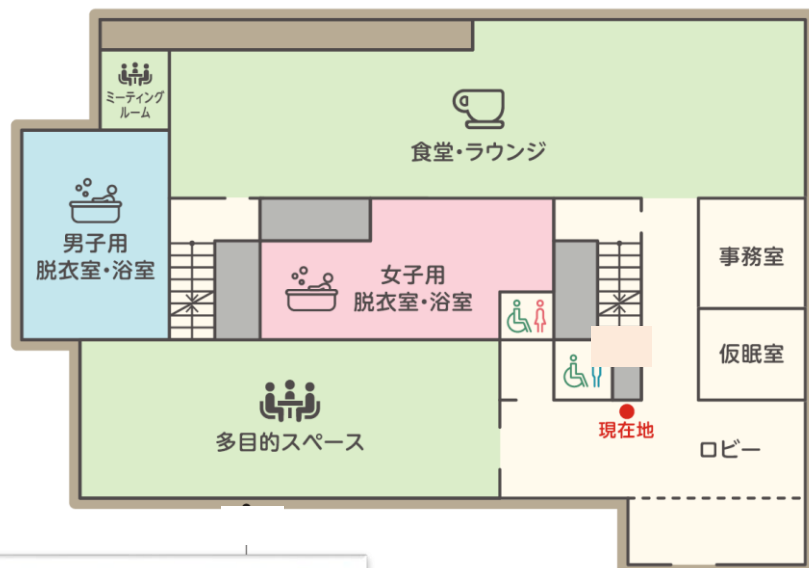
施設には、常に管理人またはハウスマスター、夜間は宿直者が常駐しています。
防犯面では、鍵の閉め忘れ防止など、セキュリティ強化のため入退室はカードキーを使用します。また、プライバシーに配慮しつつ、施設内外に防犯カメラを備えています。
防災面では、各部屋に自動火災報知設備のほか、随所に消火器を設置しています。

5 多世代交流の拠点として

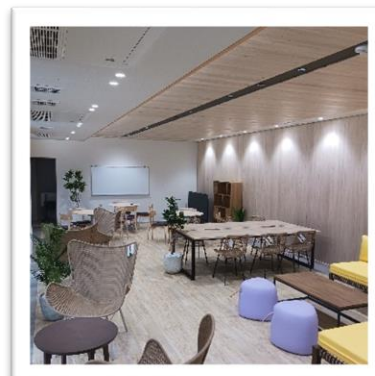
施設の1階では、幅広い世代が集い、学び、交流を深められるよう、ゆっくりくつろげる多目的スペースや、食堂・ラウンジ、キッチンを設けています。



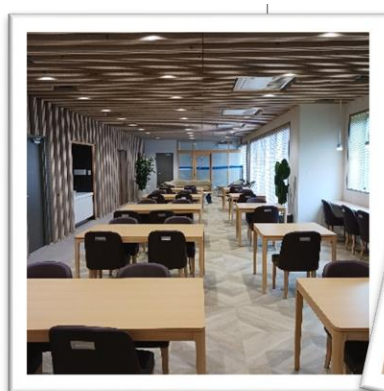
【1階】



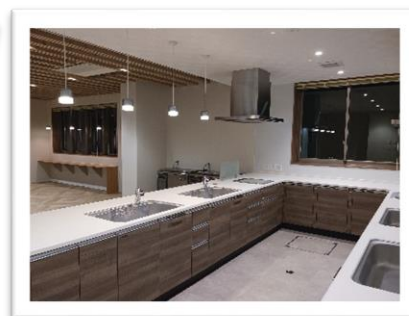
ロビー



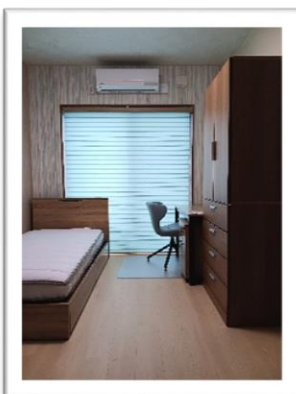
多目的スペース



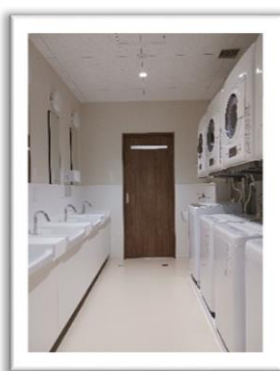
食堂・ラウンジ



キッチン



居室



洗面・洗濯室



【2階】

